



会 長 妻神 和憲 青少年奉仕 小井田和哉
 副会長 工藤 義隆 幹 事 山村 和芳
 クラブ奉仕 会 計 夏堀 礼二
 会長エレクト 築館 智大 会場監督 村上 隆三
 職業奉仕 小林 幹夫 直前会長 鶴飼 寿栄
 社会奉仕 石橋 敏文 副幹事 石橋 信雄
 国際奉仕 佐々木泰宏 会計補佐 橋本八右衛門

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報広報委員長 石橋 司 同副委員長 峯 正一
 同 委 員 石橋 信雄

国際ロータリーのテーマ — 2017~2018 — 八戸ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす

より集い、より語り合おう！

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

八戸ロータリー会長 妻神 和憲

2月 は 平和と紛争予防／紛争解決月間です

第3046回例会 2018.1.31

▶ビジター 次年度地区青少年奉仕部門
 インターアクト委員長
 柴田文彦さん（むつ中央）

に観戦できるということは囲碁の大好きな方々にとっては最高の喜びだったのではないかと考えています。同じクラブの佐々木克郎さんをはじめ、デーリー東北さん、三八五さんにおかれましては尽力され、今回の棋聖戦が成功されおめでとうございました。

会長要件 妻神 和憲 会長

早いもので1月も今日で終わろうとしています。毎日寒い日が続いておりまして、またインフルエンザも流行しているとのことで、健康管理には十分注意していただきたいと思っています。

先週の八戸地域のニュースを振り返って見ましたが、わたしが興味があったニュースについてお伝えしたいと思います。

- 八戸ワインがお披露目されました。今年初めて生産され、今後これがどのように成長、発展していくのかたいへん興味深く思っています。これが新たな産業発展の形でどんどん広がって行ってくれればと思っています。残念ながらわたしは飲むことができませんが、飲まれた方はその感想等を教えていただければと思っています。
- 八戸パークホテルで囲碁の棋聖戦が行われました。一流の棋士が来て行う大会を間近

- 八戸出身の作家の呉勝浩さんの小説「白い衝動」が第20回大藪春彦賞を受賞しました。ぜひじっくり読んでみたいと思います。
- 前原義一会員のお祖父さんの前原寅吉さんの功績をたたえ、小惑星の名前として国際天文学連合に承認されたそうです。
- 三沢にアメリカ空軍のF35A最新鋭のステルス戦闘機が配備されるニュースを見ました。北朝鮮情勢が緊迫している中での配備なので、とても不安な気持ちに思っています。この配備によって平和が安定することにつながっていかばと願っています。

幹事報告 石橋 信雄 副幹事

○国際ロータリー年次大会日本人親善朝食会
 日時：2018年6月24日(日) 午前6:30

場所：ハイアット・リージェンシー・トロント

会費：10,000円

○第19回ロータリー国際囲碁大会

日時：2018年4月22日(日) 登録受付9:00

場所：日本棋院会館本院 登録料：18,000円
(昼食代、商品代、懇親会費等含む)

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会 大菅祥弘委員長

○ニコニコボックスの報告

・誕生日 山田慶次・川村幸雄会員

・結婚記念日 岡崎孝文会員

前原義一会員 天文学の祖父トラキチがとう
とうスターになりました。

佐々木克郎会員 囲碁棋聖戦の4日間の大イ
ベントを盛況裡に終えるこ

とができました。

峯 正一会員 ソロプチミストさんからお祝
いをいただきました。

鴨澤 諭会員 当社が隣りの元サイキ様の建
物の移転します。

赤澤栄治会員 南部打毬のご支援お願い致し
ます。

橋本八右衛門会員 インフルはやっておりま
す。気を付けましょう。

藤枝裕一会員 卓話をさせていただきます。宜し
くお願い申し上げます。

深川公夫・夏堀礼二 } 藤枝さん、安田さ
小井田和哉・大菅祥弘 } ん卓話宜しくお願
石橋信雄・小城直樹会員 } いします。

村林 徹・道尻誠助 } ニコニコデー
妻神和憲・佐藤 敦会員 }



新 会 員 卓 話

SMBC日興証券(株)八戸支店長

藤枝裕一会員

弊社は昨年SMBCフレンド証券から本年1月1日をもちましてSMBC日興証券に変わりました。本日は相場の展望について、皆さんが気にされているのは日経平均がどこまで上場するの？とよく聞かれますので、その話をさせていただければと思っています。

資料をご覧ください。2018年末の日経平均は25,000円と予想しております。世界経済は拡大局面が続くと見ております。足元の世界経済はちょっと出来過ぎの感じもありますが、これが2016年前後にかけて全国の売り上げに伴いまして、社会的に景気が減速した時期でもあります。現在の好況はその反動も含まれている可能性があると考えています。そういう点ではこの先少し景気回復のペースが鈍化する可能性があるのではないかと考えています。国内景気は賃上げは徐々に浸透すると共に、デフレ脱却への方向性がはっきりしてくる年になると予想しています。夏頃には新元

号の発表も見込まれておりますし、久々に未来に目の向きやすい年になるのではないのでしょうか。景気回復が実感できる年になりそうですね。

リスク要因としましては、安倍政権支持率低下、欧米の金融引締めペースの加速があります。海外投資家の多くはアベノミクスを評価していると考えられていますが、景気回復の本格化が進めば、結果的にアメノミクスという政策の後押しも必要性は薄れてくるというのは理屈ですが、安倍政権の支持率が下れば、アベノミクスの後退けいめんの連想につながり、景気の先行きに対する投資家の自信も低下し、その結果、海外投資家が日本株に対して弱気になる可能性が考えられます。

また欧米の金融引締めは今のところ慎重に行われており、マーケットや世界経済に対する影響というのは2016年前後に少し危ないところがありましたけれども、足元ではひとまず順調に消化中といった動きとっていいのではと思っています。もし今後金融引締め

ペースが市場のコンセンサスよりも相当早いということになりますと、世界の景気減速や新興国通過安などにつながるリスクは出てくるのではないのでしょうか。

景気回復の長期化を追い風に日経平均30,000円の高値を目指す

投資環境に入る前に、日経平均がもし30,000円に乗せるという可能性を一回考えてみよう。国内景気は拡大を続けておりまして、戦後最長の景気拡大局面であるいざなぎ景気越えが視野に入りつつあります。

こちらの図は名目GDPと日経平均の予想EPSの推移を示しています。こちらの図にある通り、名目GDPと予想EPSは大雑把にいいますと、おおむね連動した動きになっています。一般的にGDPといいますと、実質GDPのことをいいますが、これは経済成長率に物価を加味したものです。例えば、前年と比べて給料が10%増えれば景気はいいと言えそうですが、同じく物価は一年で10%上がっていたら、給料は上がっても生活は楽になりません。これが実質GDPの考え方です。日本は長らく物価がマイナス状態にありましたので、例えば給料は昨年と同じでも物価が下がるので、同じ給料でも今年は昨年よりたくさんものが買えるということがありました。実質GDPの考え方だと、これが景気が良いということになります。このように給料が増えていなくても、統計的には好景気とカウントされるのです。これが実感なき景気回復といわれる大きな理由の一つともいえます。

しかし足元では、名目GDPが増加しております。また同時の実質GDPも増加しています。先ほどの例えでいいますと、物価は少しずつ上がっていますが、給料がそれ以上に上がっている状況だということです。企業収益というのは名目の世界で動いています。利益は昨年から横ばいだが、物価が下がった分、実質的には増益という理屈は企業収益や株の世界では通用しません。昨年買った株は値上がりしていないが、物価が下がった分、実質プラスというふうにはなかなか考えにくいも

のです。つまり、物価が上昇して、かつ名目GDPが増加する世界では基本的にも企業収益は拡大してきます。株価も上昇基調をたどることになります。もちろん企業収益がそれ以上に増えたり減ったりすれば、当然影響は受けますので、あくまでも基調としてはという話です。

今後はデフレ脱却はよりはっきりしてくると見ています。企業収益も波はあれども、上昇基調をたどるのではないかと思っています。その結果、株価は中長期的な上昇局面入りしたと考えられます。本日、ニューヨークで大幅な下落をしました。短期的にいいますと年末から年始にかけての相場の上昇がひじょうに大きかった部分もありますので、じゃっかんの簿調整ではないかと当社ではとらえています。

具体的に日経平均30,000円になるためには、こういった条件があるのでしょうか。まず、PERとEPSの考え方からみていきます。この業界ではよく使うことばです。株価はPER倍率、株価収益率とEPS一株利益に分解ができます。株価は $PER \times EPS$ で計算できます。株価が上昇するにはPER倍率が一定ならばEPSが上昇すればいい。またEPSが一定であればPERが上昇すればいいということになります。言い方を変えますと、PERとEPSの両方が上昇する局面では株価はより大きく上昇するといえます。

PERは先行きの見通しが良好で高い成長期待が見込まれると上昇する傾向にあります。2004年～2007年あたりをみると、日経平均はPERで16～18倍越えのレンジで推移していたことが分かります。これは小泉総理の頃の好景気局面です。物価もデフレ脱却とまではいえないものの、マイナス幅を縮めていた時期でした。足元で予想PERは15倍弱となっています。一方企業業績は好調で、国内景気はいよいよデフレ脱却が視野に入ってきているというところですから、予想PER18倍くらいまで上がってもよさそうです。もし仮に2018年末に予想PERが18倍に達するとすれ

ば、あくまでも計算上ですが、来年末に日経平均は30,000円近くまで上昇してもおかしくないという、理論理屈にはなるかな。為替も円高になっていますので、いろいろな部分ではじゃっかん誤差も出てくるかなと思っています。

名目DGPとEPSの関係をお話しましたが、少し見方を変えますと、株価は物価との連動性の高いということも言えます。毎年毎年どんどん物価が下がる世界では、理論的には売上、利益も減少していくことになります。利益が減っても物価の下落ペースほどに減らなければ実質増益といえます。ところが株価にはそんな理屈は通じませんので、理論的には利益が減った分、実は株価も下落してまいります。逆に物価が上昇して利益も上昇すれば、理論的にはその分、株価は上昇します。もっとも株価が一年で2倍になりましても、もし物価が10倍になっていけば、株価が儲かったと喜んでもらえることはないかなと思っています。

IMFによる物価見通しと日経平均のグラフを重ねたものをみると、IMFの見込み通りに今後物価が上昇したとしますと、日経平均も30,000円にいきそうに見えます。ひとまずはイメージということでご理解いただければと思います。業界用語でROEとPDRの関係を示しています。

人手不足は景気回復の証。投資環境について見てみると、日本経済ですが、昨今新聞などで盛んに人手不足ということが言われています。有効求人倍率は2006～2007年の好景気を大きく越えた水準にあります。また日銀のアンケートでは企業規模に関わらず、人手が足りないと認識している企業は大幅に増加しており、特に中小企業において雇用のひっ迫感が強まっています。

こうした状況をともすると少子高齢化による人手不足と後ろ向きに取られる論調も見られますが、確かに人口の年齢別構成を見ますと、確かに15～64歳の人口が減少傾向にあります。足元では女性の社会進出の高まりを背景に、実は実際の働き手としましては増加

しています。人が足りないというときに、仕事の数は同じで人が減っているのか、あるいは仕事が増えているのに仕事が減っているのかということを考えないといけません。そういう意味では仕事は今現在は増えていて、働く人も増えています。なおそれでも人が足りないというのが今の現状です。こうした人手不足の状況は先行き賃金上昇圧力となるのではと思っています。物価は賃金と相関性が高く、どちらが先かという難しい問題ですが、賃金の上昇は物価の上昇につながりやすいということは言えるのではないかと思います。こうした賃金上昇圧力の高まりが日本のデフレ脱却を後押しすると見えています。

以上で当社の資料をはしょって日本の経済、景気を見据えた上で、本年度における景気それから青森県の経営者の方々がかなり賃上げなどに悩んでおられると思っていますが、こういったことで当社としましては本年度、来年に向けてそれから2020年の東京オリンピックに向けて、しっかりと日本の景気感には伸びて行くのではないかと予想しています。

第一生命保険(株)八戸営業部長 安田 徹会員

今日はまず、青森県の現状ということで、健康寿命とがん。わたしは生命保険事業を行っておりますので県の状況とがんに対して、青森県と包括連携協定を結んでいて、いろいろな取り組みをさせていただいていますので、その一部をお話します。次にこの4月から生命保険がかなり大きく変わろうとしていますので、そのお話をさせていただきます。最後に地域との結びつきということで包括連携協定のお話をさせていただきます。

旬の話題として、最近、未来年表ができました。これはこれから起きることとして、日本の人口減少が年度ごとに入っています。今年何が起きるか。75歳以上の人口が65～74歳の人口を上回る。3年後の2021年は団塊ジュニアの世代が50代に突入し、これによって介護離職が増え始める。今まで2025年問題として提起されていたのですが、それが6年後の

2024年に起きてしまうということで、団塊の世代が全て75歳以上になり、社会保障費が大きく膨らみ始める。3人に1人が65歳以上、6人に1人が75歳以上と高齢化社会に突入するというのが2024年。そして32年後の2050年に団塊ジュニア世代が全て75歳以上となり、社会保障費の破たんが懸念の懸念が強まる。一人で一人を支える肩車社会に突入する。こういう年表がある本に書かれています。

健康寿命ということをいろいろなところで耳にしたことがあるかと思います。実は男性の平均寿命は80歳、女性は86歳ですが、健康でいられる年齢というのは男性は71歳、女性は74歳。男性については9年間は何らかの病気もしくは痴呆で介護が必要になったり。こういったところで、わたし共生保事業についてはいろいろな部分で保障というところでの提供をさせていただいています。

健康寿命と平均寿命の関係ですが、男性の各県ごとのものをみますと、今までは長寿県ということで沖縄が一番でしたが、今は一番は長野県です。そして健康寿命の一番は山梨県です。青森県は残念ながら健康寿命、平均寿命ともにあまりよろしくない。ちなみにわたしの前任地の静岡も結構いいです。なぜかというところ皆さんお茶を飲まれるので、お茶のカテキンが影響しているみたいなこともささやかかれて、皆さんお茶を飲んでいるようです。徳川家康が最後を迎えたのも静岡県と言われています。女性もほぼほぼ同じです。ただ違うのは女性は平均寿命が短いのですが、健康寿命が長い。ちなみに大阪は健康寿命が短い。病気になったらすぐ亡くなる方が多いのか。

がんの罹患率とがんの死亡率の分布図を見ると、青森県は死亡率、罹患率共に高い。隣の秋田県より高くなっています。余談ですが、健康診断を受けている県と受けていない県を見ると、青森県はワースト35位で64%の方しか健康診断を受けていない。県の方もここを推進しましょうと取り組みをされているみたいです。

生命保険料で考えますと、どうしても保障

に対する保険料というものがありますが、損保では地域によって保険料が違います。わたしも静岡からこちらに来て自動車保険が安くなったのでなんでかと聞いたたら、南海トラフがないから自動車保険が安くなるといわれ、地域で保険料が違うんだというのを実感しました。実は生命保険は地域では保険料は同じです。なので、簡単に言いますと長野県の方々と青森県の方では同じ保険料を払っているのですが、危険度でいうと青森県のほうが危険が高いのが今の現状です。

いろいろな項目でビックデータで医療関係のデータが集積されています。生保事業の中でもビックデータを活用させていただいて、いろんなことが起きています。1つは引受け範囲の拡大区分。生命保険に入るときに健康診断を受けられ、その結果としてちょっと悪いところがあると実は引き受けできなかったり、中には条件付きに成ったり、保険料がちょっと高くなったかと思います。実は今、見直しをして健康診断の結果で保険料が安くなったりする場合が出てきます。これはなぜかというところ、今まではがんですとほぼほぼ亡くなっていたのが、今は亡くならない時代になってきたので、そういった病気をさされている方でも今だと危険度が軽くなっているので、見直しをすることで保険料が安くなるということが起きています。

アプリが開発され、いろんな健康推進に向けた取り組みをさせていただいています。健康を取り巻く環境ということで、世界でもこのアプリを使った取り組みがもうすでに行われています。ちなみに南アメリカのディスカバリー社というところで健康増進プログラムというのが開発されました。携帯や万歩計などを活用して、それを使っている方には保険料を安くするといった取り組みが行われています。

日本でも昨年度、当社が第一弾ということで健康アプリを使って実際に健康かどうかの診断ができるようになっていきます。オーストラリアではバイタルプログラムを使って健康に取り組む状況で保険料の割引が入る。携帯

端末を貸し出して、その活用状況によって保険料が安くなる。健康診断の結果で、受けているか受けていないかによって保険料を変えましょう。当社はオリエンタルランド（デイスニーランド）と提携させていただいて、そのアプリもかわいいキャラクターと一緒に万歩計で遊んでいただいたり、健康プログラムで増進ができるようになっていきます。

最新機能ではFace AIということで現在の自分の写真を撮っていただきますと、将来の自分の顔がリアルに出てくるという。たばこを吸う、お酒を飲む、白髪交じりなど、これは若くもできます。昔の自分に戻っていただくこともできます。

皆さんも健康診断を受けられていっぱい項目が乗っている表を見るかと思えます。これをアプリにかざすだけで取り込みができる、取り込んだものを自分の健康状態ということで活かしていくこともできるようになっています。ちなみにお薬手帳もこの機能の中に入っていて、一緒に活用することもできるようになっています。何か自分が倒れたときにはこういったものを利用して、健康増進につながるという形です。

当社がこの4月から業界に先立ちまして健診割を生保業界で初めて取り入れることになりました。これは何かといいますと、先ほどデータで見させていただきましたが、なかなか青森県の皆さんが健診を受けないということもありますが、そういったものを送信していただくということで健康診断を受けている人と

受けていない人で保険料を優遇させていただくという取扱いがこの4月から開始になります。今、健康診断を受けていない方はぜひ健康診断を受けていただいて、生命保険にお入りいただくときは今より少しでもお安く入っていただくことが、これから可能になってくるというのも一つのきっかけになってきています。

第一生命と青森県は昨年、包括連携協定を結ばさせていただいています。いろいろと項目がありますが、いろいろな部分で県と一緒にこういう健康増進も含めて地域の皆さまの健康増進作りにも懸案していきたいとしています。全国では47都道府県のうち16都道府県でこのような協定を結ばさせていただいています。いろんな地域の中でこういったプログラムを組ませていただいて取り組みをしています。青森と八戸で2回ほどセミナーをしています。

昨年度LDHジャパンというエグザイル、三代目J Soul Brothersなどの所属する会社と業務提携をして、子どもさんの支援もしています。他の業種とのコラボということでマツモトキヨシの店舗でも生命保険が販売されるようになりました。今まで生命保険は保険のおばちゃんみたいなセールスレディーが訪問させていただいて、いろいろあったと思いますが、これからはそういう店舗でも保険が親しみやすく入れるきっかけになっていくのかと思います。

出席報告						出席委員会	
第3046回例会（1月31日）				第3044回例会（1月17日）			
出席率		66.1%		出席率		100%	
総会員数		64名		出席数		39名	
出席義務会員		59名		出席免除会員		5名	
欠席数		20名		修正出席率		100%	
総会員数		64名		メイクアップした人数		0名	
出席義務会員		58名		出席免除会員		6名	
欠席数		0名		欠席数		0名	